



記憶の中の

ふるさとの記憶を思い起こし、語る

富岡・夜の森



とみおか
アーカイブ・
ミュージアム
企画展

会期 2025年 3月8日(土)～6月1日(日) 9時～17時(最終入館16時30分)

前半:3月8日(土)～4月20日(日) 夜の森地区 後半:4月25日(金)～6月1日(日) 富岡地区

会場 とみおかアーカイブ・ミュージアム **入館無料**

主催:とみおかアーカイブ・ミュージアム 問い合わせ:0240-25-8644

今回の展示のテーマは「記憶」です。

みなさん一人ひとり重ねてきた人生の経験は、記憶としてご自身に刻まれています。

生活、学校、仕事、趣味、ご近所づきあい—無数の記憶が脳裏にあるはずです。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から14年。

避難先に移住した人、富岡町でいま生活している人、震災後に富岡町と関わり始めた人、震災前に富岡町に足を運んでいた人。

富岡町にまつわる記憶は100人100通り以上です。

震災以前の富岡町を知っている人は、現在の町並みや風景、商業施設などを比べられるでしょう。

震災後の町の様子を見てきた人は、この数年間の大きな変化を特徴的に振り返るかも知れません。

最近富岡に関わるようになった人は、これから富岡にまつわる様々な記憶を紡いでくれるでしょう。

展示のメインとなる「記憶の街」模型は2015年、仮設住宅でのワークショップから生まれました。

ワークショップの主眼は、ふるさとの記憶を思い起こし語ること。模型には参加者が記したたくさんの「記憶の旗」が立てられました。

富岡町で生まれた、富岡町で仕事をしてきた、友だちと遊んだ、海岸線の風景が好きだった…

ボランティアの学生たちに「記憶」を語る参加者の表情は、みな活き活きしていました。

できあがった模型は主に記憶などから製作したために、必ずしも正確ではありません。

でも、参加した人たちの「記憶のなかの富岡町」が表現されている貴重な資料です。

震災前の富岡町を知っている人も知らない人も、模型や展示資料を見て、この14年にかぎらず、過去も未来も含めた富岡町に想いを馳せていただければ幸いです。

そして、ご自身が今お住まいの地域に目を向けるきっかけにしてください。

少しだけ、明日への向き合い方が変わるかもしれません。

※本企画展会期中、模型に記憶の旗を追加する予定はありません



◆東京方面から

- ・東京駅→JR 常磐線特急ひたち利用 (約3時間) ……→富岡駅…→
- ・東京駅→高速バス利用 (約4時間20分) ……→富岡営業所…→
- ・常磐自動車道経由一般道利用 (約3時間15分) ……→

◆仙台方面から

- ・仙台駅→JR 常磐線特急ひたち利用 (約1時間30分) ……→富岡駅…→
- ・常磐自動車道経由一般道利用 (約1時間40分) ……→

◆いわき方面から

- ・いわき駅→JR 常磐線利用 (約40分) ……→富岡駅…→
- ・いわき駅前→新常磐交通バス利用 (約1時間10分) ……→富岡駅前…→

◆富岡駅から当館まで (一般道約2.3km)

- ・タクシーまたは循環バス利用 (約5分)

とみおかアーカイブ・ミュージアム

とみおかアーカイブ・ミュージアム

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚760番地の1
[TEL]0240-25-8644 [休館]月曜(祝日の場合は翌平日)



とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式 Facebook



とみおかアーカイブ・ミュージアム
公式 Instagram

